



とびっくす

No.111

(本誌はホームページでもご覧いただけます。 <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>)

沿岸自営漁業者の所得向上に向けて ～ケンサキイカ樽流し釣り漁業の改良試験～

島根県水産技術センターでは、令和3年度より沿岸自営漁業者の所得向上を目的に、島根県沿岸域に適したケンサキイカ樽流し釣り漁業の改良試験を実施しています。ケンサキイカ樽流し釣り漁業は山口県や九州北部で普及しており、昼間に樽と疑似餌で構成される漁具(以下、樽)を流してケンサキイカを漁獲します。そのため、夜釣り漁業で使用する集魚灯等の設備投資が不要であり、初期経費や燃油使用量を削減でき、低コストというメリットがあります。

夜明けとともに、いざ「やそしま」出港！

夜明け前の日本海、深夜操業を終了したイカ釣り漁船が帰港します。それを横目に試験船「やそしま」は出港します。ターゲットはイカ釣り漁船と同じく「ケンサキイカ」。島根県では操業事例の少ないケンサキイカを昼間に漁獲する樽流し釣り漁業に挑戦です。

漁場に到着したら、すかさず樽を流し、そして回収します(図1、2)。緊張感漂う中、仕掛けをたぐると手ごたえがあり、何とかケンサキイカを漁獲できました！大きなイカが揚がった時は、自然と笑顔がこぼれます(図3)。

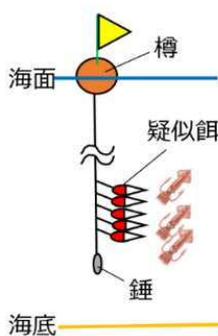


図1.漁具図

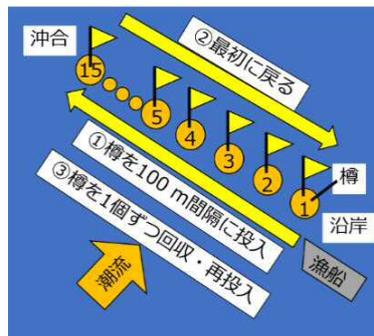


図2.操業方法 (①～③を繰り返す)



図3.やそしま試験操業の様子

ケンサキイカの水揚げ量見込みは？

2022年7月26日の本調査は、大田海域にて樽流し釣り漁業の試験操業を実施しました。本調査では5～13時の8時間に樽8個を11回投入・回収し、2～3段以下のケンサキイカを計48尾漁獲しました(表1)。

樽流し釣り漁業が普及している福岡県では、樽14～15個を使用し、やそしまと同様に操業を11回繰り返します。^{*1}今後、漁労作業の効率化を図り、樽の数を追加することにより、さらに漁獲尾数を増やせる可能性があります。

^{*1}長本 篤:たる流し漁業におけるケンサキイカの漁獲特性.福岡水海技セ研報,31,29-34(2021).

表1.ケンサキイカの漁獲尾数

銘柄(外套背長)	漁獲尾数
2段(26cm以上)	15
2.5段(22～26cm)	15
3段以下(22cm以下)	18
合計尾数	48

樽流し釣り漁業のメリットは？

樽流し釣り漁業のメリットを整理するために、燃油使用量および設備投資等の初期経費を試算しました。また、聞き取り調査によって取得した同規模漁船(漁船 A)における夜イカ釣り漁業(竿釣り)の操業データと比較しました(表 2)。

燃油使用量は、樽流し釣り漁業が 119 L/日であり、夜イカ釣り漁業の 187.5 L/日の 6 割程度でし

た。また、樽流し釣り漁業にかかる初期経費は 41 万円であり、夜イカ釣り漁業の 258 万円の 2 割程度と低コストであることが分かりました。このことから、先述の水揚げ量の見込みも含めて、ケンサキイカ樽流し釣り漁業は島根県沿岸域においても導入の可能性がある漁法と考えられました。

表 2.燃油使用量および初期経費の比較

項目	やそしま	漁船 A
漁法	樽流し釣り	夜イカ釣り (竿釣り)
漁船の規模	9.1 トン	9.7 トン
燃油使用量/日	119 L	187.5 L
初期経費	41 万円	258 万円

樽流し釣り漁業の効率化～ポイントは水温情報～

ケンサキイカ樽流し釣り漁業において効率的な漁場探索や出漁判断をするためには、水温情報が重要であることが分かりました。今回の試験操業では、ケンサキイカは底層水温が産卵水温^{*2}に近い、17.5～19.6℃の時に多く漁獲されました(図 4)。なお、漁場の水深は 85～120 m でした。

5～7 月頃に島根県沿岸域で漁獲されるケンサキイカは、産卵個体が含まれる夏季来遊群^{*3}と推察されます。そのため、底層水温が産卵水温に近い操業海域や時期に、効率的にケンサキイカを漁獲できると考えられました。

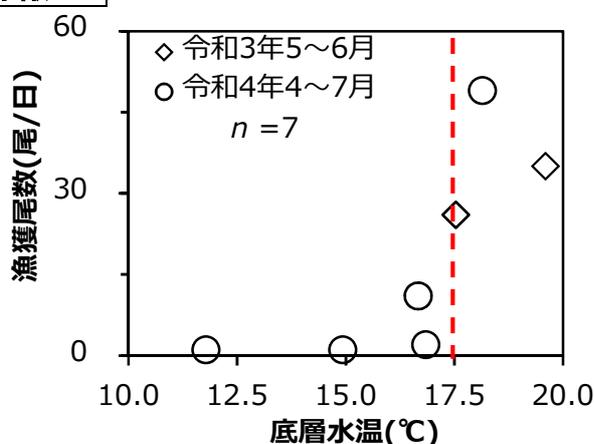


図 4.ケンサキイカ漁獲尾数と底層水温の関係

^{*2} 上田 拓:ケンサキイカ産卵場と海水温との関係.福岡水海技セ研報,19,61-67(2009).

^{*3} 金元保之・柴田泰宙:島根県沿岸におけるケンサキイカの CPUE に影響を与える要因の検討と将来予測.日水誌, 86,371-385(2020).

今後の展望

当センターでは実際の収支を明らかにするため、島根県西部農林水産振興センターと連携し、沿岸自営漁業者への漁具貸与試験も開始しました(図 5)。それに加えて、漁獲効率向上に向け、ケンサキイカ樽流し釣り漁業発祥の地である福岡県の漁業者と意見交換も行っています。

今後も漁獲効率向上を図りながら漁具貸与試験を継続し、ケンサキイカ樽流し釣り漁業の普及可否について検討します。ケンサキイカ樽流し釣り漁業に興味のある方は、島根県水産技術センターまでお知らせください。



図 5.漁具貸与試験の様子 (左:普及員、右:漁業者)

島根県水産技術センター 島根県浜田市瀬戸ヶ島町 25-1

TEL:(0855)22-1720 FAX:(0855)23-2079

ホームページ: <https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

E-mail: suigi@pref.shimane.lg.jp

